

タブレット端末を活用した学びの充実

府中市では、学校及び家庭でタブレット端末を活用し、子供たちが様々な課題を解決するために必要な力を身に付けることを目指しています。市内小・中学校の活用実践例を紹介します。

1 授業だけでなく様々な場面で活用しています。

授業のまとめの場面や朝の学習等での活用

授業のまとめの場面で「eライブラリアドバンス」の確認テストを活用している学校があります。間違えた問題は解説教材で振り返ったり、もう一度解き直したりすることができ、学習内容の定着につながります。

また、朝の学習時間に、「eライブラリアドバンス」のドリル学習に短時間で取り組むなど、効率的な学習を習慣化している学校もあります。



連絡・確認等に活用し、見通しをもった生活に

登校した後、タブレット端末にログインし、「Google Classroom」でその日の連絡（時間割や予定等）を確認している学校があります。

家庭でも「Google Classroom」を見て、次の日の予定や持ち物を確認し、準備に役立っています。



2 学校と家庭の学びがつながっています。

カメラを使って記録し、授業の中で共有・発表

カメラ機能を家庭での学びに有効に活用している学校があります。身の回りで「秋を感じるもの」を見つけて記録したり、街の「ユニバーサルデザイン」を見つけて記録したりしています。

記録した写真は、学校で発表やレポートの作成等に使っています。



オンライン配信や双方向のやり取り

感染症等により授業に参加できない子供たちに対し、家庭からも授業に参加できるようタブレット端末を活用して、オンラインによる朝の会や、定点カメラによる授業配信を行っています。また、「Google Meet」を使って子供たち同士が意見交換をするなど、学校と家庭で双方向のやり取りを行っている学校もあります。



～持ち物の調整を行っています～

タブレット端末の持ち帰りに当たっては、児童・生徒の携行品の量や重さに配慮しています。

持ち物の調整のために次のような取組を行っている学校もあります。

- 音読の宿題で使う国語の教科書以外は学校に置いて帰ってもよいとしている。
- 習字セットや絵の具セット、辞書などの重い物は、学校に置いて帰ってもよいとしている。
- 同じ日の授業で多くの学習用具が必要になる場合には、あらかじめ数日に分けて持ってくるようにする。

※特に、週明け（月曜日）と週末（金曜日）に携行品が重くならないように配慮します。

